

原子力発電所耐震安全性評価の中間報告について

平成20年5月16日
関西電力株式会社

1. 中間報告の位置付け

平成19年7月 新潟県中越沖地震による東京電力
柏崎刈羽原子力発電所の被災状況を踏まえ、経産
大臣の指示により、早期に国民の安心が得られる
よう、バックチェック実施計画の見直しを行った。

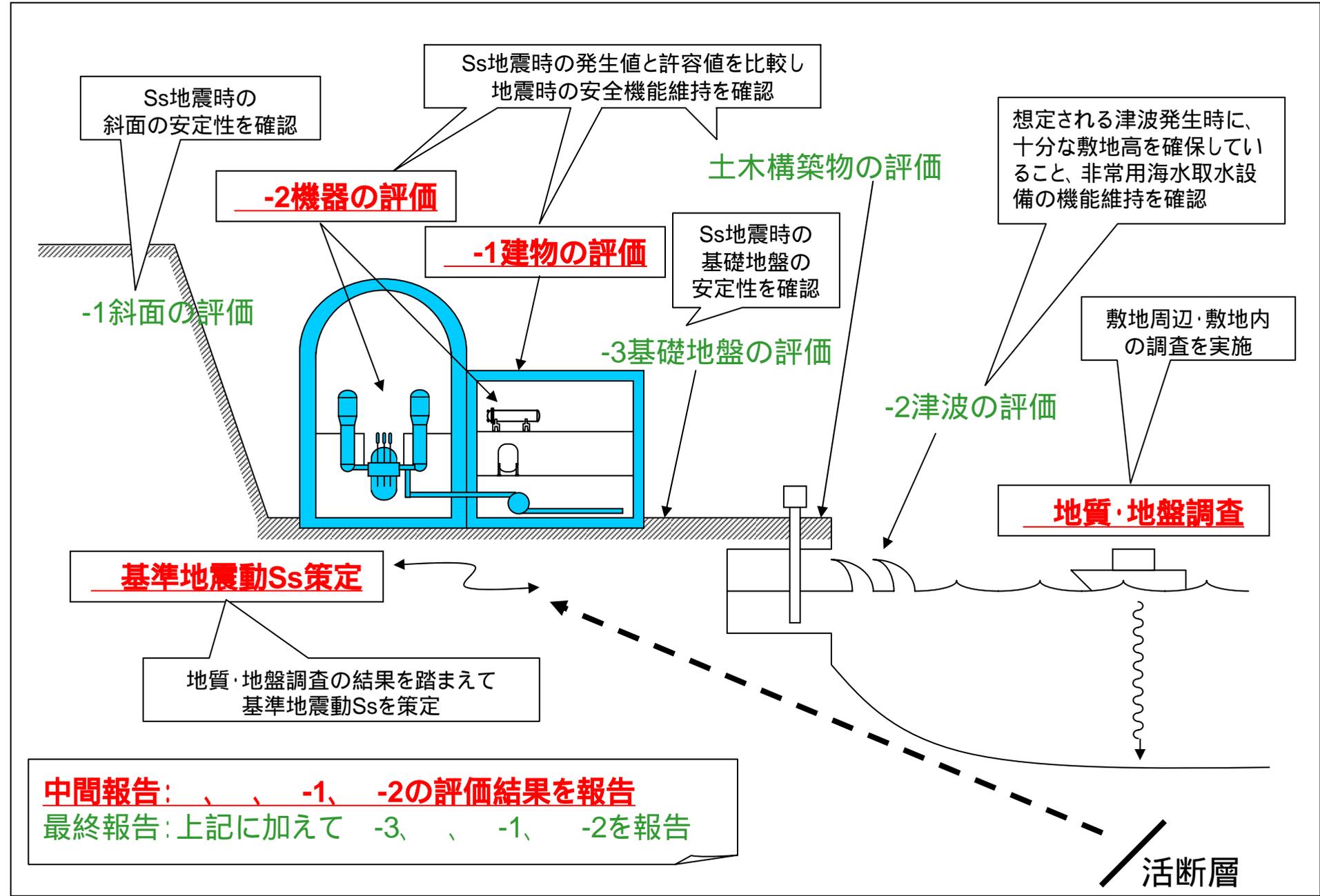
評価完了時期の前倒し(H21.12 H21.9)

H20.3 中間報告の実施

中越沖地震等から得られる知見の反映

中間報告では、上記を踏まえ、早期に国民の安心
を得る観点から、現在までの検討状況を報告する。

2. 中間報告の範囲



3. 活断層評価と基準地震動

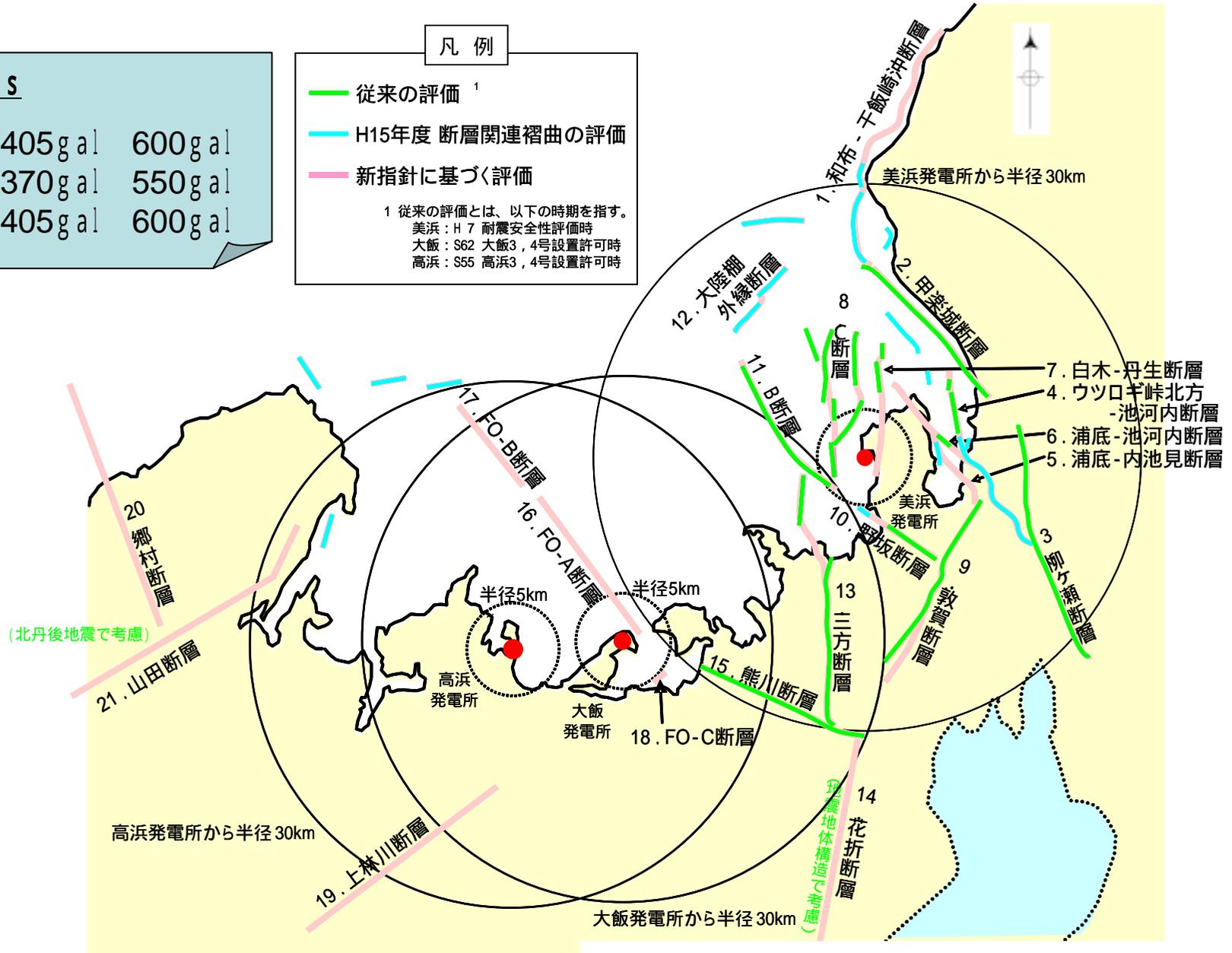
基準地震動 S_s

美浜発電所	405 gal	600 gal
高浜発電所	370 gal	550 gal
大飯発電所	405 gal	600 gal

凡例

- 従来の評価¹
- H15年度 断層関連褶曲の評価
- 新指針に基づく評価

¹ 従来の評価とは、以下の時期を指す。
 美浜：H7 耐震安全性評価時
 大飯：S62 大飯3, 4号設置許可時
 高浜：S55 高浜3, 4号設置許可時



(注) 敷地から半径約30kmの範囲の主な活断層について図示している。

4. 耐震安全性評価結果(中間報告対象の施設)

4

美浜1号機の評価結果例

単位: ~ はMPa、 ~ は秒、 ~ はせん断ひずみ

	発生値	評価基準値	判定
原子炉容器	43	166	
蒸気発生器	382	444	
炉内構造物	86	391	
一次冷却材管	136	354	
余熱除去ポンプ	11	210	
余熱除去配管	49	360	
原子炉格納容器	45	280	
制御棒(挿入性)	1.73	1.8	
原子炉建屋	0.50×10^{-3}	2.0×10^{-3}	
原子炉補助建屋	0.58×10^{-3}	2.0×10^{-3}	

各サイト初号機の「止める」「冷やす」「閉じ込める」に関する安全上重要な機能を有する主要施設を評価 **評価基準を満足することを確認**

5.まとめ

平成20年3月31日に、これまでの評価状況を取りまとめて国および地元自治体へ中間報告し、対外公表した。現在、国により審査を実施中である。

今後、施設の耐震安全性評価を着実に進め、平成21年9月までにすべての評価を完了して最終報告する。